



介護からエンゼルケアまで  
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～  
株式会社 ケアサービス

# 2019年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2018年11月12日

株式会社ケアサービス  
(東証JASDAQ 2425)

- P.3 2019年3月期 第2四半期連結決算概要
- P.14 2018年度介護報酬改定の影響
- P.17 2019年3月期 上半期トピックス(国内既存事業)
- P.21 2019年3月期 上半期トピックス(国内新規・海外事業)
- P.24 中期成長戦略 - 今後の取り組みについて -
- P.31 参考資料



介護からエンゼルケアまで  
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～  
株式会社 ケアサービス

## 2019年3月期 第2四半期連結決算概要

# 2019年3月期 第2四半期実績（累計） 決算サマリ（対前期比）

- 売上高： 対前期比 3.3%増収
- 営業利益： 同 11.1%減益
- 経常利益： 同 2.6%減益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： 同 63.6%減益

(百万円)	18/3月期 2Q (連結)		19/3月期 2Q (連結)		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	4,257	100.0%	4,397	100.0%	140	3.3%
売上総利益	543	12.8%	547	12.5%	4	0.8%
販売費及び一般管理費	472	11.1%	484	11.0%	12	2.6%
営業利益	71	1.7%	63	1.4%	△ 7	-11.1%
経常利益	61	1.4%	59	1.4%	△ 1	-2.6%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
特別損失	4	0.1%	16	0.4%	12	278.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	27	0.7%	10	0.2%	△ 17	-63.6%

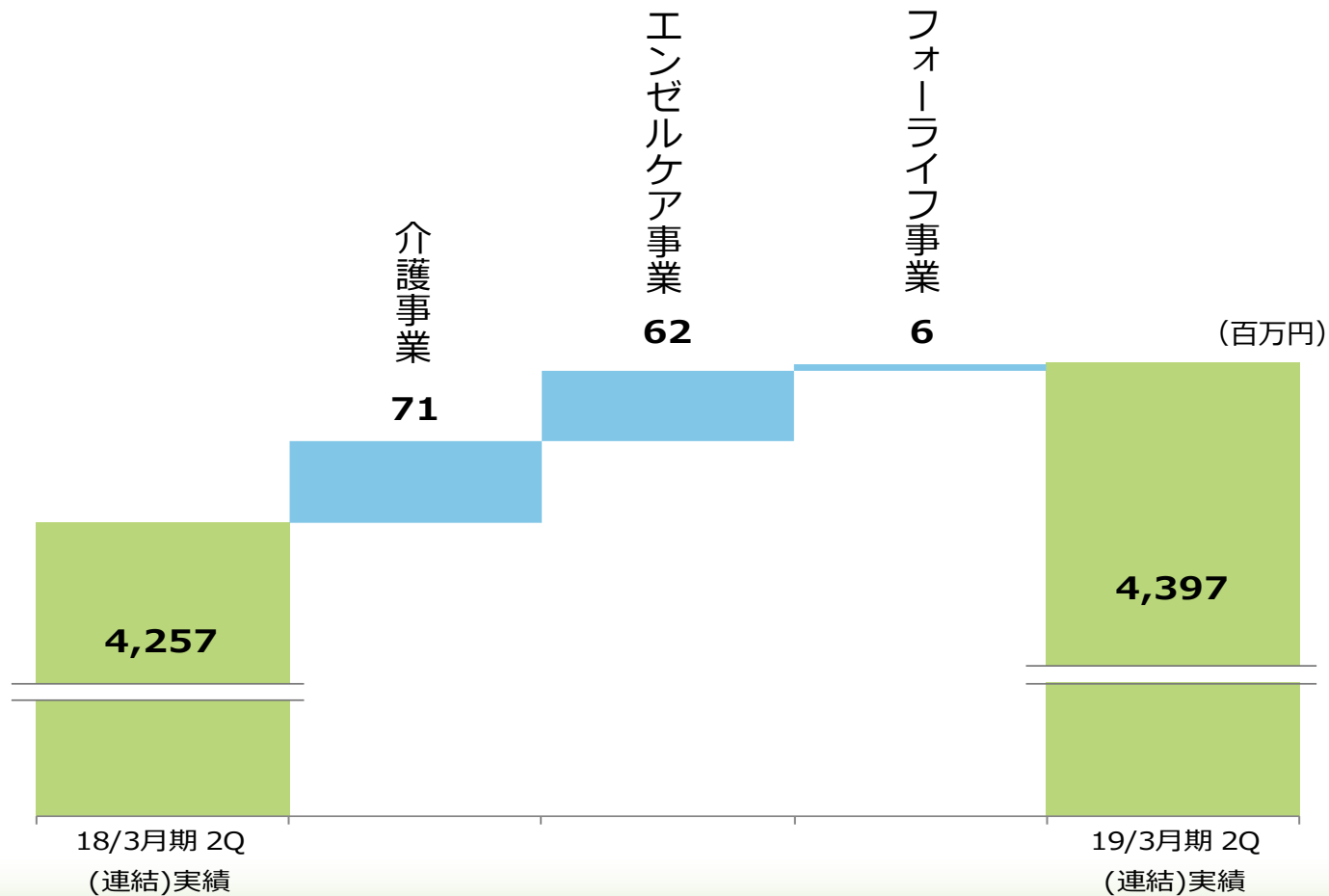
# 2019年3月期 第2四半期実績（累計）事業別業績概要

- 介護事業： 対前期比 2.3%増収 5.4%減益
- エンゼルケア事業： 同 7.1%増収 5.9%増益
- フォーライフ事業： 同 2.2%増収 2百万円減益

(百万円)	18/3月期 2Q (連結)		19/3月期 2Q (連結)		対前期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>4,257</b>	<b>100.0%</b>	<b>4,397</b>	<b>100.0%</b>	<b>140</b>	<b>3.3%</b>
介護事業	3,106	73.0%	3,178	72.3%	71	2.3%
エンゼルケア事業	870	20.4%	932	21.2%	62	7.1%
フォーライフ事業	280	6.6%	286	6.5%	6	2.2%
<b>セグメント利益</b>	<b>523</b>	<b>12.3%</b>	<b>509</b>	<b>11.6%</b>	<b>△ 13</b>	<b>-2.6%</b>
介護事業	374	12.0%	353	11.1%	△ 20	-5.4%
エンゼルケア事業	152	17.6%	161	17.4%	9	5.9%
フォーライフ事業	△ 3	-1.2%	△ 5	-2.0%	△ 2	-
<b>調整額</b>	<b>△ 452</b>	<b>-10.6%</b>	<b>△ 446</b>	<b>-10.2%</b>	<b>5</b>	<b>1.2%</b>
<b>営業利益</b>	<b>71</b>	<b>1.7%</b>	<b>63</b>	<b>1.4%</b>	<b>△ 7</b>	<b>-11.1%</b>

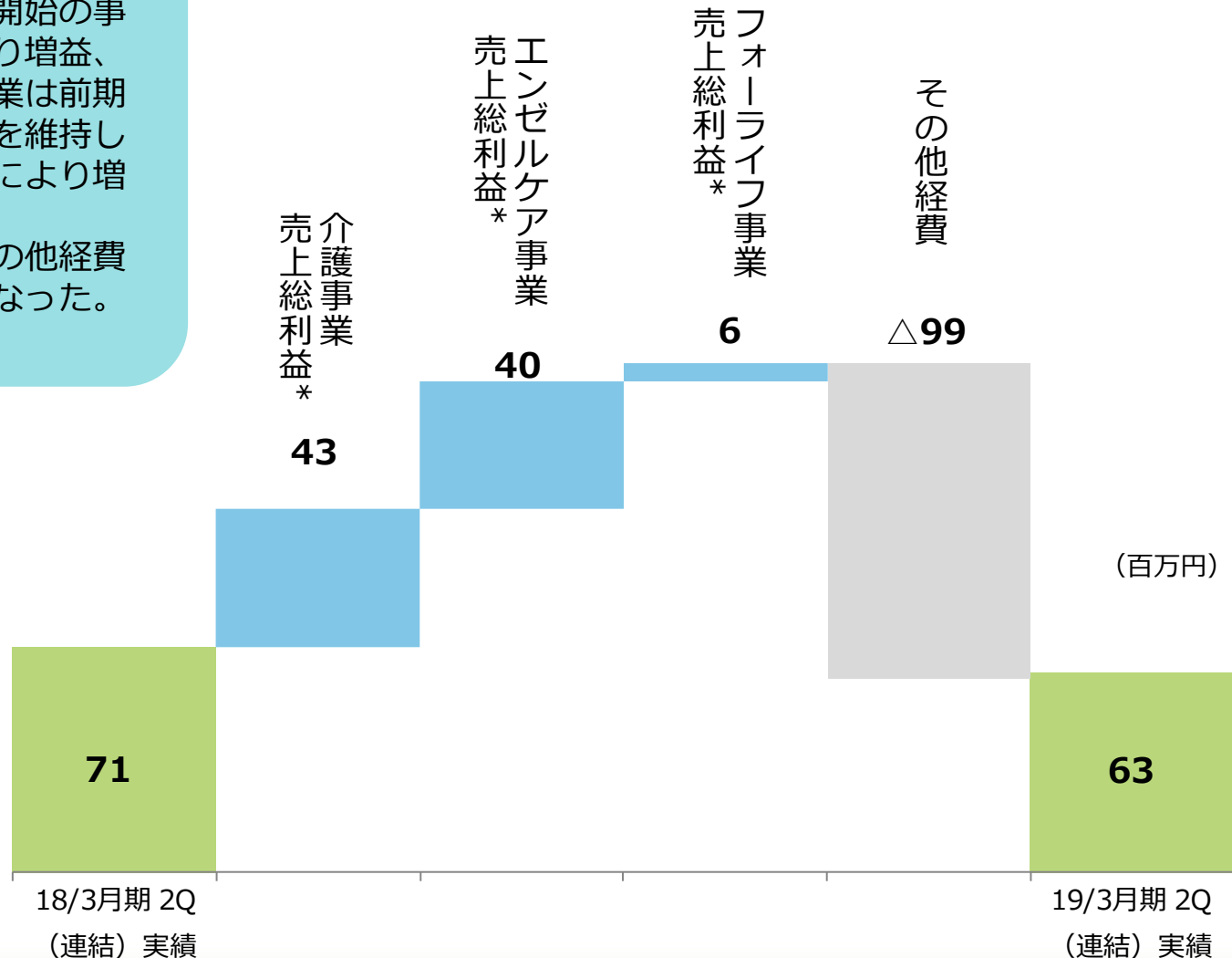
# 2019年3月期 第2四半期実績（累計）売上高の増減分析

介護事業は前期開始の事業が好調に推移し増収  
エンゼルケア事業は好調に推移し増収  
フォーライフ事業は新規入居者獲得により増収



# 2019年3月期 第2四半期実績（累計） 営業利益の増減分析

介護事業は前期開始の事業の売上増により増益、エンゼルケア事業は前期に引き続き好調を維持しており、売上増により増益となった。  
全体としてはその他経費増により減益となった。



\*注意： 人件費を除いた売上総利益額です

# 2019年3月期 第2四半期末 貸借対照表サマリ

(百万円)	18/3月期末		19/3月期 2Q末		対前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	2,153	72.4%	2,252	73.3%	99
現金・預金	736	24.8%	785	25.5%	49
売掛金	1,295	43.6%	1,358	44.2%	63
固定資産	819	27.6%	820	26.7%	1
有形固定資産	294	9.9%	280	9.1%	△ 13
無形固定資産	96	3.2%	95	3.1%	0
投資その他の資産	428	14.4%	444	14.5%	15
<b>資産合計</b>	<b>2,973</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,073</b>	<b>100.0%</b>	<b>100</b>
流動負債	1,191	40.1%	1,214	39.5%	23
買掛金	125	4.2%	161	5.3%	35
1年以内返済予定の 長期借入金	234	7.9%	224	7.3%	△ 10
未払費用	254	8.5%	314	10.2%	60
固定負債	383	12.9%	460	15.0%	77
長期借入金	252	8.5%	321	10.5%	68
<b>負債合計</b>	<b>1,574</b>	<b>53.0%</b>	<b>1,675</b>	<b>54.5%</b>	<b>100</b>
株主資本	1,418	47.7%	1,402	45.6%	△ 15
資本金	205	6.9%	205	6.7%	0
資本剰余金	138	4.6%	138	4.5%	0
利益剰余金	1,223	41.1%	1,207	39.3%	△ 15
自己株式	△ 148	-5.0%	△ 148	-4.8%	0
その他の包括利益累計額	△ 7	-0.2%	△ 5	-0.2%	2
<b>純資産合計</b>	<b>1,398</b>	<b>47.0%</b>	<b>1,397</b>	<b>45.5%</b>	<b>0</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,973</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,073</b>	<b>100.0%</b>	<b>100</b>

## 【ご参考】自己資本比率の推移

- 18/3月期末                    47.5%
- 19/3月期 2Q末                45.5%



# 2019年3月期 第2四半期（累計）キャッシュ・フロー計算書サマリ

(百万円)	18/3月期 2Q（連結） 実績	19/3月期 2Q（連結） 実績	対前期比 増減額
税引前四半期純利益	57	43	△ 13
減価償却費	55	61	6
売上債権の増減額（△は増加）	△ 53	△ 63	△ 9
仕入債務の増減額（△は減少）	19	36	16
債権放棄損	0	16	16
未払金の増減額（△は減少）	83	△ 1	△ 84
未払費用の増減額（△は減少）	31	60	28
法人税等の支払額	△ 58	△ 59	0
その他	45	54	9
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー合計</b>	<b>179</b>	<b>148</b>	<b>△ 30</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 9	△ 47	△ 38
無形固定資産の取得による支出	△ 13	△ 61	△ 47
その他	△ 8	△ 5	3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー合計</b>	<b>△ 31</b>	<b>△ 114</b>	<b>△ 82</b>
長期借入れによる収入	200	200	0
長期借入金の返済による支出	△ 138	△ 141	△ 3
配当金の支払額	△ 25	△ 25	0
その他	△ 24	△ 21	3
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー合計</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>0</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>158</b>	<b>49</b>	<b>△ 108</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>803</b>	<b>785</b>	<b>△ 18</b>

## ■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	18/3月期				19/3月期 2Q末				対前期末比 増減数
	新規	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	新規	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	
<b>介護事業</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>76</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>76</b>	<b>0</b>
デイサービス（通所介護サービス）	1	2	0	48	1	0	2	47	△ 1
訪問入浴サービス	1	0	0	13	2	1	0	14	1
その他サービス	1	0	2	15	0	0	0	15	0
<b>エンゼルケア事業</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>23</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>23</b>	<b>0</b>
<b>フォーライフ事業</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>0</b>

## ■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	18/3月期 2Q末	19/3月期 2Q末	対前Q末比 増減数
<b>介護事業</b>	<b>948</b>	<b>961</b>	<b>13</b>
<b>エンゼルケア事業</b>	<b>221</b>	<b>234</b>	<b>13</b>
<b>フォーライフ事業</b>	<b>72</b>	<b>74</b>	<b>2</b>
<b>合計</b>	<b>1,241</b>	<b>1,269</b>	<b>28</b>

### < 19/3月期 2Q 新規出店・統廃合店舗 >

#### 新規出店

- デイサービスセンター島根【18/5】
- 訪問入浴 上井草【18/6】
- 訪問入浴 川口【18/6】

#### 移転

- 訪問入浴下井草を上井草に移転【18/5】

#### 閉店・休止・廃止

- デイサービスセンター目黒本町【18/4閉店】
- デイサービスセンター文京千石【18/5閉店】

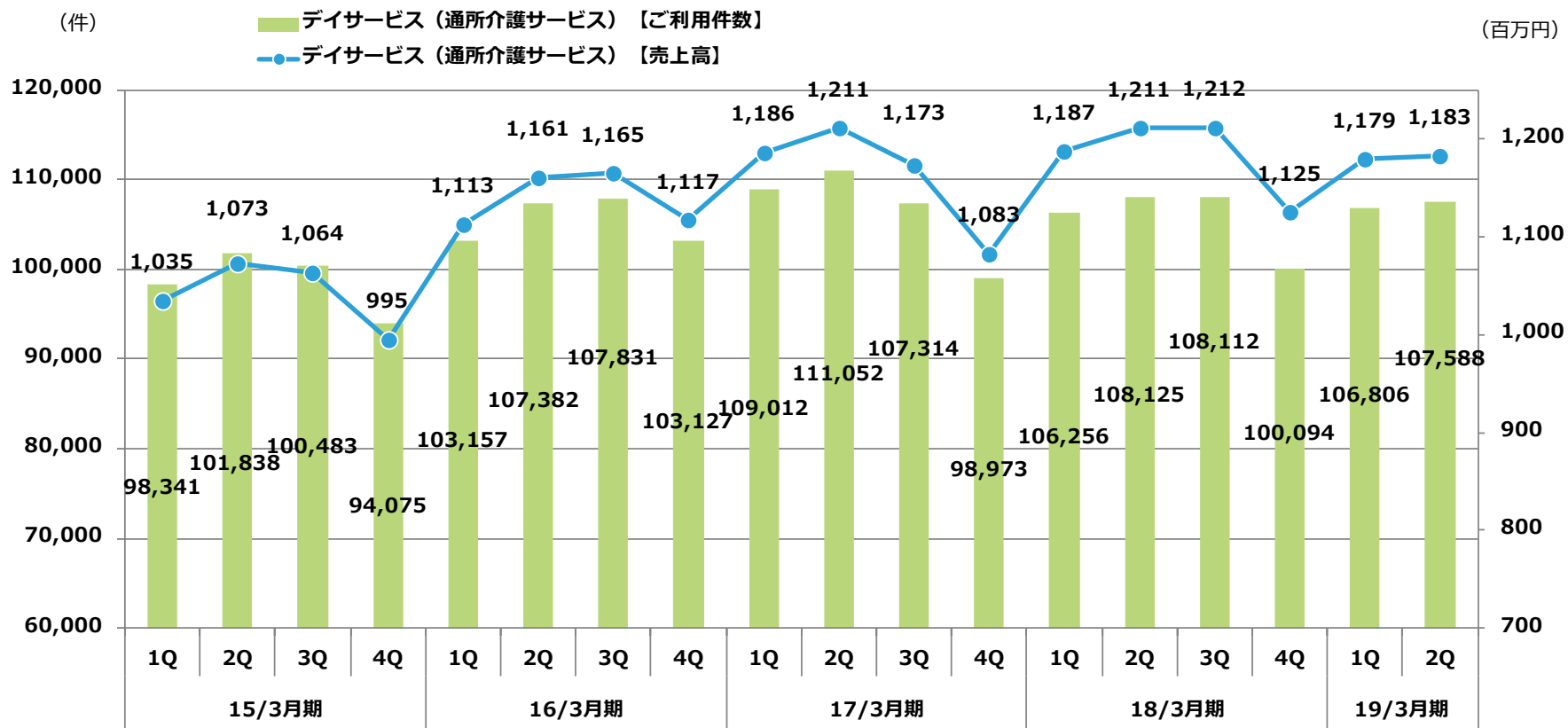
※数値にはパート従業員を含む

# 介護サービス別売上高とご利用件数の推移

- 小規模多機能型居宅介護の事業開始（18/3月期下期）により売上高が増加
- デイサービスは稼働上昇するも赤字事業所の合理化・人員の最適化を目的として19/3月期上期に実施した事業所統廃合および介護報酬改定の影響で、売上高およびご利用件数ともに横ばい
- 訪問入浴サービスは株式会社やさしい手の入浴事業譲受で売上高・ご利用件数ともに増加

	16/3月期 (連結)実績			17/3月期 (連結)実績			18/3月期 (連結)実績			19/3月期 (連結)実績
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期
<b>売上高【百万円】</b>										
<b>介護事業</b>	<b>3,043</b>	<b>3,016</b>	<b>6,060</b>	<b>3,136</b>	<b>2,930</b>	<b>6,066</b>	<b>3,106</b>	<b>3,042</b>	<b>6,149</b>	<b>3,178</b>
デイサービス（通所介護サービス）	2,271	2,280	4,552	2,396	2,257	4,653	2,398	2,337	4,736	2,363
訪問入浴サービス	506	467	973	473	454	927	471	440	912	502
その他	265	268	534	267	219	486	237	265	501	312
<b>ご利用件数</b>										
<b>介護事業</b>	<b>279,413</b>	<b>276,709</b>	<b>556,122</b>	<b>284,109</b>	<b>263,087</b>	<b>547,196</b>	<b>273,097</b>	<b>263,357</b>	<b>536,454</b>	<b>273,660</b>
デイサービス（通所介護サービス）	210,539	210,958	421,497	220,064	206,287	426,351	214,381	208,206	422,587	214,394
訪問入浴サービス	35,084	32,431	67,515	32,222	30,892	63,114	31,321	29,228	60,549	33,371
その他	33,790	33,320	67,110	31,823	25,908	57,731	27,395	25,923	53,318	25,895

介護事業（デイサービス） ご利用件数の推移



# 2019年3月期 業績予想サマリ

- エンゼルケア事業
  - ・ 既存23店舗の稼働率向上を推進。
  - ・ 中国国営の3殯儀館（葬儀場）における稼働率向上を推進。
- 介護事業
  - ・ デイサービス1店舗開設、既存47店舗の稼働率向上を推進。
  - ・ デイサービス13店舗で展開している日曜営業の一層の稼働率向上を推進。
  - ・ 株式会社やさしい手から譲受する訪問入浴事業との統合により稼働率向上を推進。
  - ・ 中国子会社における介護事業本格化。
- フォーライフ事業・・・既存施設4店舗の入居率向上を推進

	(単位)	18/3月期 通期実績 (連結)	19/3月期 通期予想 (連結)	対前期比	
				増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>(百万円)</b>	<b>8,611</b>	<b>8,910</b>	<b>298</b>	<b>3.5%</b>
介護事業	(百万円)	6,149	6,381	232	3.8%
エンゼルケア事業	(百万円)	1,908	1,980	72	3.8%
フォーライフ事業	(百万円)	554	547	△ 6	-1.2%
<b>営業利益</b>	<b>(百万円)</b>	<b>235</b>	<b>256</b>	<b>20</b>	<b>8.8%</b>
<b>経常利益</b>	<b>(百万円)</b>	<b>232</b>	<b>261</b>	<b>28</b>	<b>12.4%</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>(百万円)</b>	<b>118</b>	<b>155</b>	<b>36</b>	<b>31.1%</b>
<b>主要拠点数 ※1</b>					
介護事業	(拠点)	76	79	3	0.0%
エンゼルケア事業	(拠点)	23	23	0	0.0%
フォーライフ事業 ※2	(拠点)	4	4	0	0.0%

※1 主要拠点数は国内のみ記載しております    ※2 特定施設入居者生活介護の認可を受けております

# 2018年度介護報酬改定の影響

居宅サービス、施設サービス、居宅介護支援全ての改定率は、予算ベースで+0.54%となった。

I 地域包括ケアシステムの  
深化・推進

II 自立支援・重度化防止  
質の高いサービス実現

改定率 + 0.54%

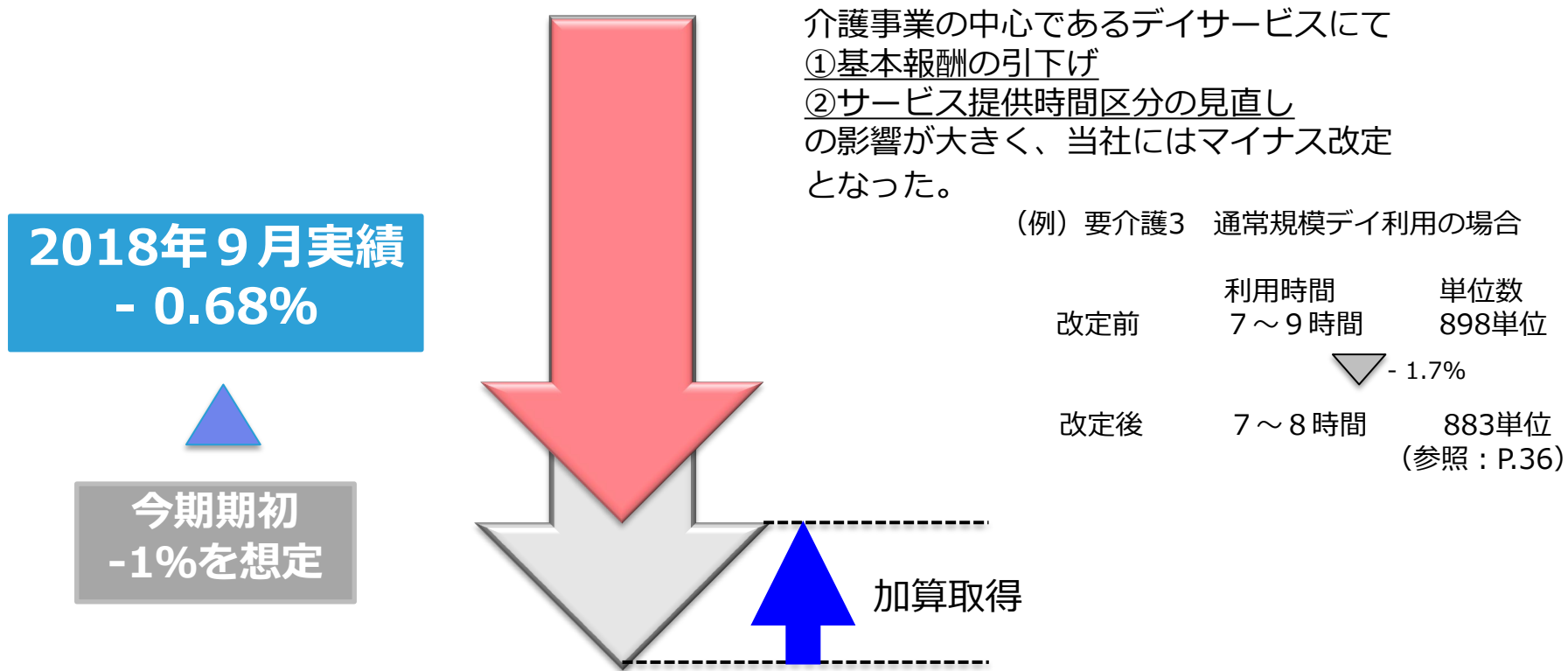
質の高いサービスの  
評価等  
+ 1%

4つの  
基本的な  
考え方

III 多様な人材の確保と  
生産性の向上

IV 介護サービスの  
適正化・重点化  
制度の持続可能性の確保

給付の適正化  
▲ 0.5%



今期初は、-1%前後の単価減を想定していたが、加算取得などが奏功したことで、計画を上回り上半期実績では、-0.7%前後の推移。





介護からエンゼルケアまで  
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～  
株式会社 ケアサービス

# 2019年3月期 上半期トピックス (国内既存事業)

## ドミナント戦略の推進（事業所の新規出店）

- **2018年5月「デイサービスセンター島根」開設**  
東京都足立区では4拠点目。当社の居宅介護支援事業所が隣接。  
機械浴や機能訓練の最新設備を設置。



- **2018年6月「訪問入浴 川口」事業所開設**  
株式会社やさしい手の訪問入浴事業を譲受したことに伴い、埼玉県に進出。  
(関連：P.19,20)

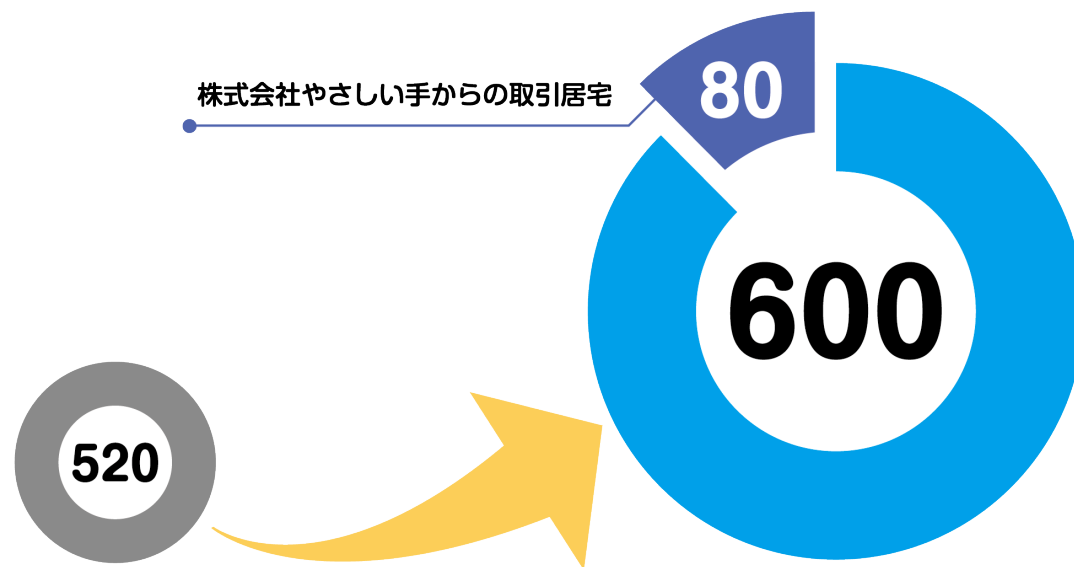
## 2018年6月 株式会社やさしい手より訪問入浴事業の譲受

- 東京（杉並、練馬、世田谷）と埼玉（川口）エリアの事業と従業員の譲受
- 当社の訪問入浴市場に対する分析
  - ・ 成熟期を迎えており、全体の市場規模はゆるやかに縮小している。
  - ・ 要介護度が極めて高い方への専門的なサービスのため、今後も一定の需要は存在する。
  - ・ 在宅介護において、比較的高い利益率が期待できるサービスである。

訪問入浴は、一定以上の規模を  
保持することにより、残存者利益が期待できる。

## 2018年6月 株式会社やさしい手より訪問入浴事業の譲受

### 訪問入浴サービス全体の取引居宅介護支援事業所数



ドミナント戦略を活用し、新規の取引居宅に対して、複合的なサービス利用の営業提案を展開する。



介護からエンゼルケアまで  
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～  
株式会社 ケアサービス

# 2019年3月期 上半期トピックス (国内新規・海外事業)

## 介護人材の人材紹介事業本格化

### ■ 人材紹介事業の本格スタート

2018年4月より、人材子会社『ケアサービスヒューマンキャピタル』にて介護業界に特化した人材紹介サービスを開始。  
今期3,500万円の売上を想定。年度ごとに前年度の倍増以上の成長を計画。

かいごの架け橋のオーダーメイドの介護転職サイト

かいごの架け橋

求人検索 Job Search   求人情報 recruit   会社概要 company   簡単登録 resister   お問合せ contact

### オーダーメイド型転職

通勤30分圏内の  
『**あなただけの求人**』を  
ご紹介します！

ご自宅から30分圏内の求人を紹介！ 	介護業界での人事経験者があなたをフルサポート！ 	入社後も100%フォローアップ制度！ 
---	---	--

相談をしながら求人を探したい方・自分で探すよりも  
求人の紹介を希望する方・非公開求人をお探しの方は **こちらから！** ↓

無料 お仕事を  
紹介してもらおう >

【株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル 人材紹介登録サイト】  
『かいごの架け橋』（<https://www.carehc.co.jp/>）

## 中国事業 2019年3月期 上半期サマリー

### ■ 上海エリア

（介護）

- ・ 訪問入浴 — 上海市行政から補助金を獲得。  
高齢者の自宅や社区の施設等でサービス展開を実施。
- ・ サービス開発 — 上海市行政、現地事業者との面談、市場調査の実施。

（エンゼルケア：湯灌）

- ・ 上海市の国営葬儀場3拠点内に、湯灌専用の部屋を設置しサービス展開。
- ・ 訪問エンゼルケア（自宅など葬儀場外での湯灌）の開始。

### ■ 北京エリア

- ・ 北京福原の法人解散及び清算を決定。（2018年10月19日付開示）  
今後は上海福原が中国全体の事業を担当。



介護からエンゼルケアまで  
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～  
株式会社 ケアサービス

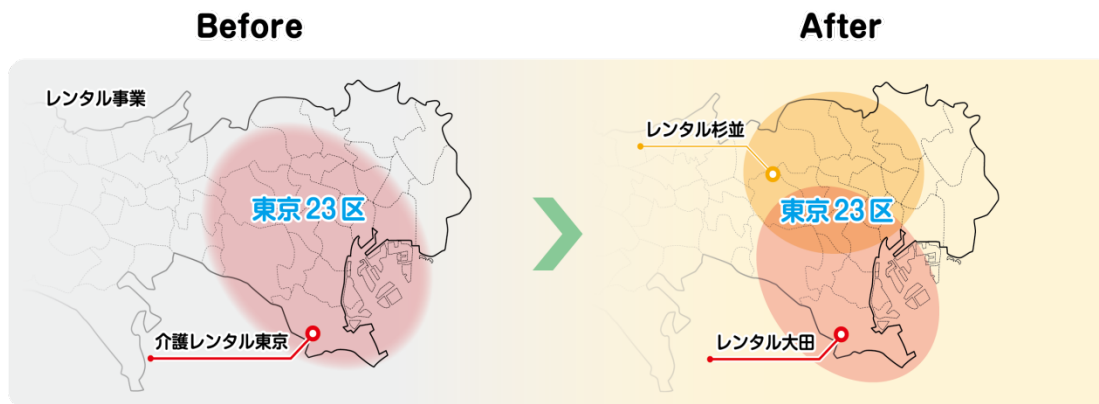
# 中期成長戦略

## — 今後の取り組みについて —

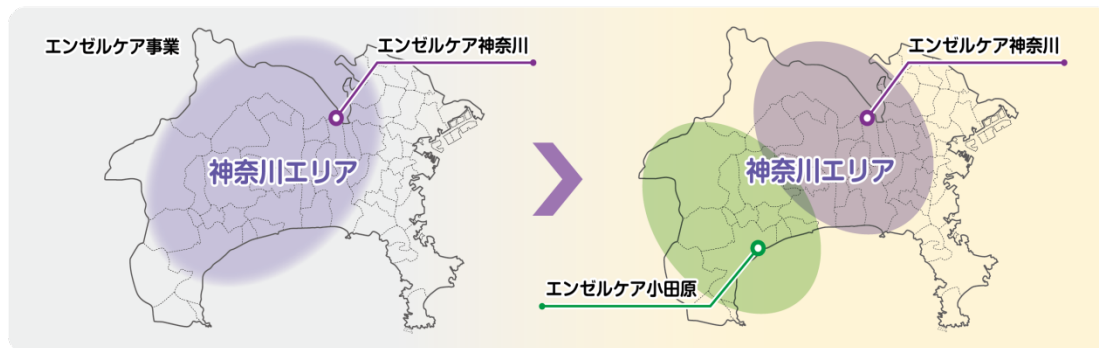


## 事業所の分割と営業エリアの細分化

介護 レンタル東京 分割  
↓  
レンタル杉並  
2018年10月 開設



エンゼルケア神奈川 分割  
↓  
エンゼルケア小田原  
2018年10月 開設



事業所分割によって、エリア内の営業の深堀とオペレーションの効率化を図り、シェア拡大を狙う。

## 現在の中国介護市場 = 在宅を中心にした介護への移行

「90・7・3」

在宅

90%

社区

7%

施設

3%

中央政府  
(政策・社会保障)

医療と介護(養老)の結合

- ・病院内の介護ベッド拡大
- ・介護施設での医療サービス導入

病院

介護施設

社区・街道

受注

在宅・社区介護サービスの整備拡充

- ・小規模多機能施設の公設民営委託
- ・訪問、通いの介護サービスの充実

大都市圏・直轄市  
(ex. 上海、北京)

当社の商機

- 運営コンサルティング
- 教育研修

ケアサービス  
(中国事業)

チームケア

認知症対応

ケアプラン

小規模多機能

訪問入浴

## 中国事業 今後の見通し

### ■ 介護

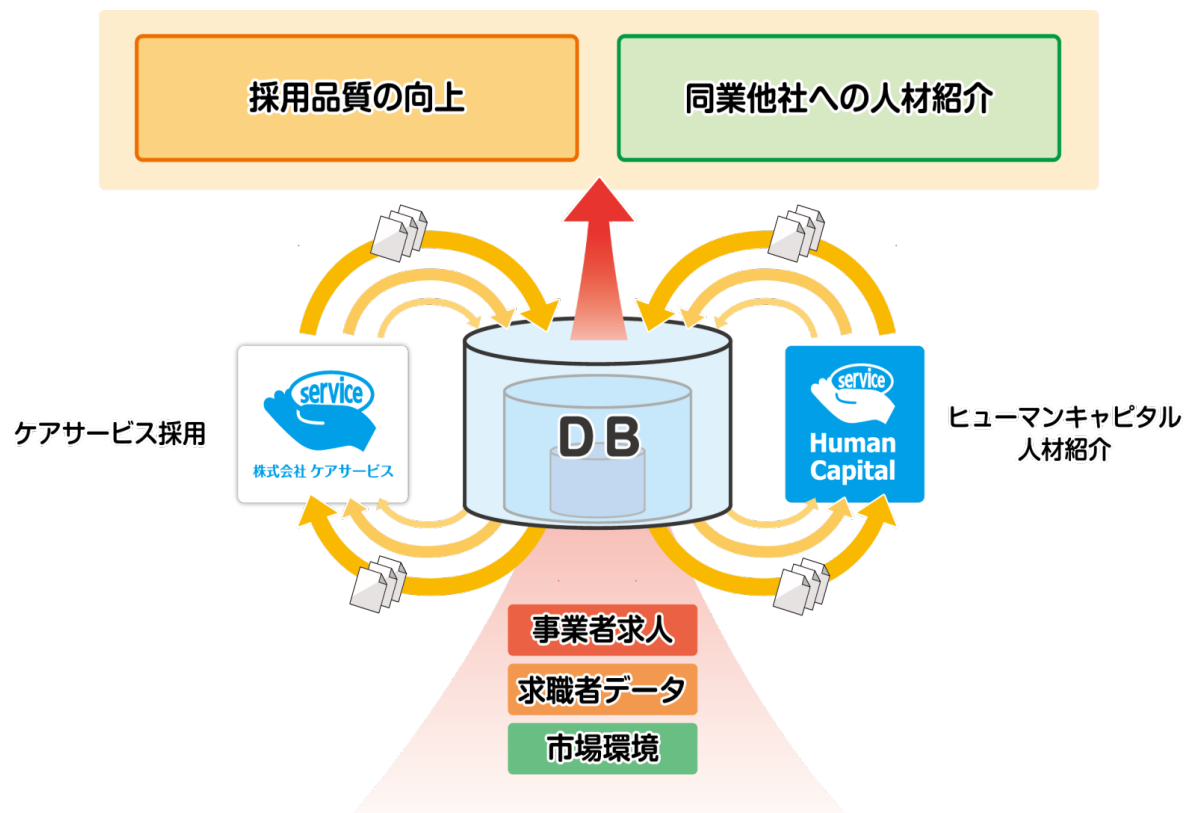
- ・ 介護事業コンサルティング
  - － 認知症や都市圏の小規模多機能などのテーマで行政や民間事業者から複数の引き合いあり。
  - － 事業規模や事業計画、体制等を見極め、精度が高い案件に取り組む。
- ・ 訪問入浴
  - － 2019年は、上海市行政より本年度以上の補助金を受ける見込み。

### ■ エンゼルケア：湯灌

上海市内の既存3施設に加え、新規葬儀場への開拓とともに訪問エンゼルケアの件数増を図る。

既存の介護、エンゼルケアの実務実績を基に、在宅介護や施設運営の事業コンサルティングや教育研修の受注を事業の中心とする。

## 採用データの蓄積による採用力向上と人材紹介事業への活用



採用データを蓄積し、活用していくことで  
介護業界の課題である採用力を継続的に向上させる。

### ■ 「TOKYO働きやすい福祉の職場宣言」の認定事業所への登録

東京都が2017年度から開始した人材育成、キャリアパス、ライフワークバランス、職場風土などの「働きやすい福祉の職場ガイドライン」の指標を当社の都内70事業所が達成し、認定事業所として登録されました。



※「TOKYO働きやすい福祉の職場宣言」事業につきましては、公益財団法人 東京都福祉保健財団のホームページよりご確認ください。  
<http://www.fukushizaidan.jp/204sengen/index.html>

### ■ 厚生労働省推進「介護プロフェッショナル キャリア段位制度」の取得奨励

介護職員の実践スキルを体系的に評価した全国共通基準である「介護プロフェッショナル キャリア段位制度」の取得に取り組んでいます。体系的に介護技術の育成・指導を行う技能を持つ「アセッサー」を12名、現時点で国内最高位の介護の専門性を持つ「レベル4 認定者」を4名が取得済。

※「介護プロフェッショナル キャリア段位制度」につきましては、一般社団法人シルバーサービス振興会のホームページよりご確認ください。  
<https://careprofessional.org/careproweb/jsp/>

職場環境とキャリアパスの整備を図ることで  
従業員の定着とサービス品質の向上を促進させる。

ご清聴ありがとうございました。

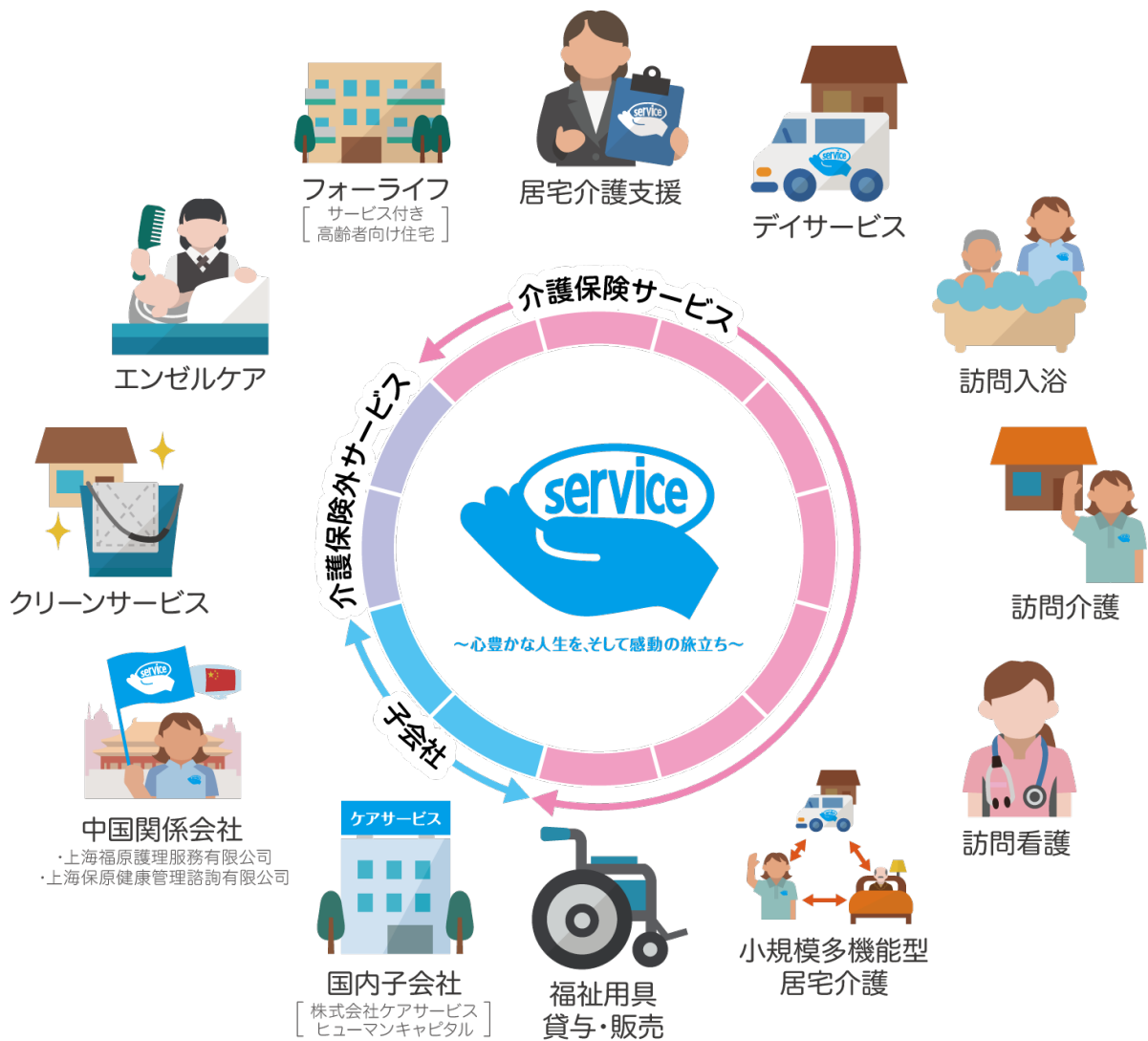


介護からエンゼルケアまで  
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～  
株式会社 ケアサービス



介護からエンゼルケアまで  
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～  
株式会社 ケアサービス

## 参考資料







## ■ 市場環境の前提

- 高齢化は引き続き進み介護需要は上がるが、新規事業者の参入等により、競争はさらに激化
- 3年に1度の介護報酬改定については、今後とも報酬抑制の傾向が継続

【ご参考】

	(単位)	18/3月期 実績	19/3月期 予想	20/3月期 計画	21/3月期 計画	当中計期間 年平均変化率
<b>売上高</b>	<b>(百万円)</b>	<b>8,611</b>	<b>8,910</b>	<b>9,373</b>	<b>10,105</b>	6.5%
介護事業	(百万円)	6,149	6,381	6,781	7,424	7.9%
エンゼルケア事業	(百万円)	1,908	1,980	2,053	2,155	4.3%
フォーライフ事業	(百万円)	554	547	537	526	-2.0%
<b>営業利益</b>	<b>(百万円)</b>	<b>235</b>	<b>256</b>	<b>373</b>	<b>545</b>	<b>45.9%</b>
<b>経常利益</b>	<b>(百万円)</b>	<b>232</b>	<b>261</b>	<b>380</b>	<b>552</b>	<b>45.4%</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>(百万円)</b>	<b>118</b>	<b>155</b>	<b>240</b>	<b>348</b>	<b>49.6%</b>

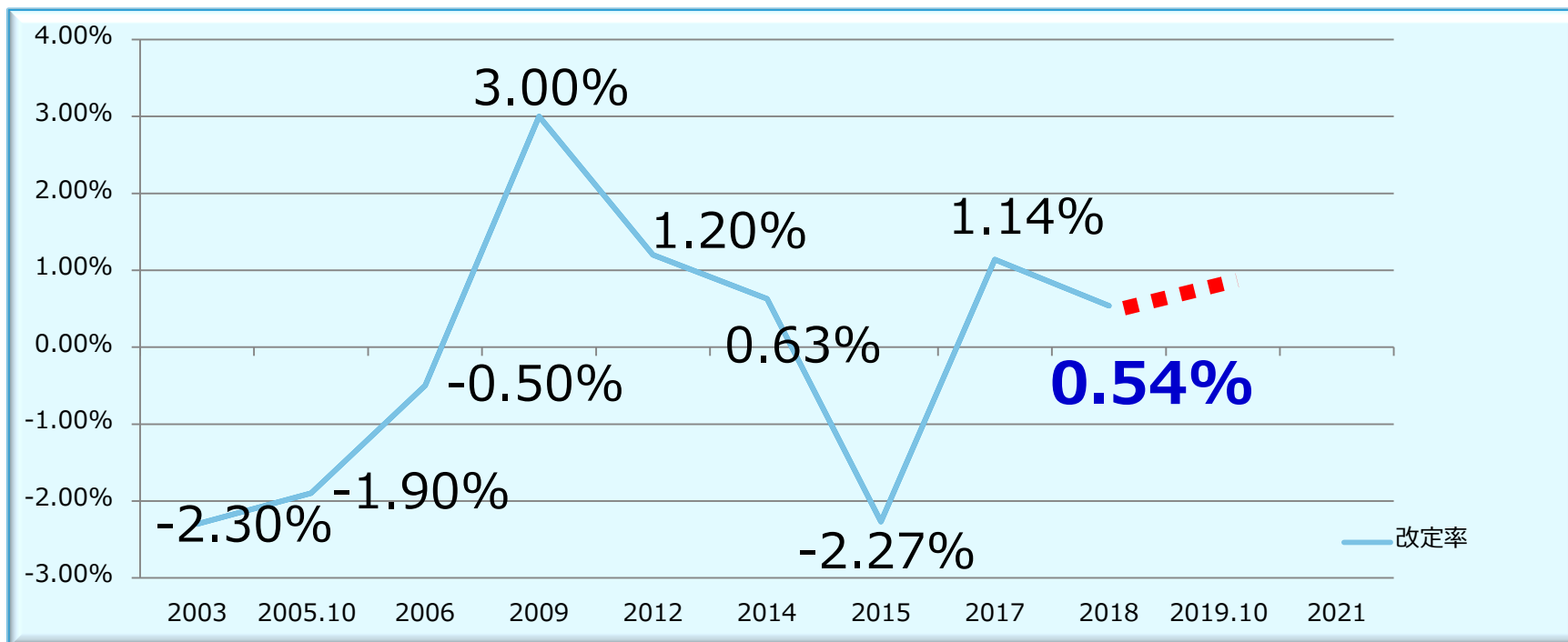
主要拠点数 ※1

デイサービス	(拠点)	48	47	49	51	4.2%
エンゼルケア	(拠点)	22	22	23	24	4.4%
フォーライフ ※2	(拠点)	4	4	4	4	0.0%

※1 主要拠点数は国内のみ記載しております

※2 特定施設入居者生活介護の認可を受けております口

# 【参考】介護報酬改定の影響（報酬改定の推移）



自立支援等

居住費・食費等見直し等

予防給付・地域包括ケア等

人材確保・処遇改善等

医療と介護の連携等  
定期巡回・看多機の誕生

消費税の引き上げ等

サービス評価の適正化等

処遇改善

**今回の改定**

(消費税の引き上げ等)

# 【参考】デイサービス事業に対する報酬改定の影響

## ①通常規模型のサービス提供時間区分の見直し

※当社一般型デイサービス 35/44

改定前（～2018年3月）		
要介護1	7～9時間	656単位
要介護2	7～9時間	775単位
要介護3	7～9時間	898単位
要介護4	7～9時間	1,021単位
要介護5	7～9時間	1,144単位



改定後（2018年4月～）		減少率
7～8時間 8～9時間	645単位 656単位	-1.7% 0
7～8時間 8～9時間	761単位 775単位	-1.8% 0
7～8時間 8～9時間	883単位 898単位	-1.7% 0
7～8時間 8～9時間	1,003単位 1,021単位	-1.8% 0
7～8時間 8～9時間	1,124単位 1,144単位	-1.7% 0

## ②大規模型Ⅰ・(Ⅱ)の基本報酬引下げ及び提供時間区分の見直し

※当社大規模型デイサービス 9/44

改定前（～2018年3月）		
要介護1	7～9時間	645単位(628単位)
要介護2	7～9時間	762単位(742単位)
要介護3	7～9時間	883単位(859単位)
要介護4	7～9時間	1,004単位(977単位)
要介護5	7～9時間	1,125単位(1,095単位)



改定後（2018年4月～）		減少率
7～8時間 8～9時間	617単位 (595単位) 634単位 (611単位)	-4.3% (-5.3%) -1.7% (-2.7%)
7～8時間 8～9時間	729単位 (703単位) 749単位 (722単位)	-4.3% (-5.3%) -1.7% (-2.7%)
7～8時間 8～9時間	844単位 (814単位) 868単位 (835単位)	-4.4% (-5.2%) -1.7% (-2.8%)
7～8時間 8～9時間	960単位 (926単位) 987単位 (950単位)	-4.4% (-5.2%) -1.7% (-2.8%)
7～8時間 8～9時間	1,076単位 (1,038単位) 1,106単位 (1,065単位)	-4.4% (-5.2%) -1.7% (-2.7%)

通常規模型：平均月延利用者数301～750人  
大規模型Ⅰ：平均月延利用者数751～900人

大規模型Ⅱ 平均月延利用者数901人～

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 経営企画部  
TEL 03-5753-1170  
E-mail ir@care.co.jp